

# “鮮度一番！”

No.181

## ～女性と男性が支え合う社会をつくる～

### CONTENTS

- 1 / 忘れない！東日本大震災 最終回
- 2 / ひとことコラム
- 2～4 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4 / 第19回三条女性会議総会のご案内  
編集後記

### 忘れない！ 東日本大震災!! (最終回)

菊池 恵子

#### 多くの支援を受けて

震災から2年半以上が過ぎ、両親が福島のリゾート住宅へ移転して家族がバラバラの生活です。子どもたちの今後のことを考えると、少しでもストレスなく、今までどおりの生活ができる所と考えます。両親は「私たちはこれから先、放射能のついたものを食べても数年後にはいないんだし、家はいつでも戻れるように片付けておくから」と言います。一時帰宅で2時間くらい入れたときには、呆然としている暇はなく、必要なものを探だし、写真を撮るだけでした。震災直後と変わらず、自宅前の景色は海が近くなりました。全国からのボランティアも入り、復興のため除染してもらって、頭が下がります。災害は体験したものでなければわかりません。テレビで見ただけでは「大変だね」と、他人事だったと身に染みて思います。

避難生活がいつまで続くかわからず、子どもたちがストレスをためないようにと思いました。知り合いになった記者さんに尋ねると、ソフトテニスの少年団を紹介され、たまたま総合体育館で練習があるので参加することにしました。メンバーの声掛けでユニフォームやシューズも集まり、それを使わせていただき、子どもは今も少年団のメンバーとして続けています。

あれよあれよという間に、子どもたちが三条の学校に通う、アパートを探す、仕事をするという当たり前の生活を取り戻していかなければなりません。ニュースで見る限り、原発20キロ圏内は立ち入りできない区域になりました。震災直後は「命があって、生きていてよかった」でしたが、今度は「どうやって生活していこうか」と現実問題が待っています。

新潟それも三条市。人のご縁はどこにあるかわからないものです。「かじまちの家」の加藤さんに出会わなければNPOで仕事をする事はなかったと思います。かじまちの家でお風呂の提供も受けました。両親も家のことを話し、アパート探してたいへんお世話になりました。NPO 小林さんと出会い。避難所で田辺夫妻と出会いました（同じ班で同じ職場）。つながりがあったなとつくづく思います。

何もできない私ですが、今あるのは皆様のおかげです。ご支援いただいた皆様に感謝の気持ちを忘れず、日々悔いのないように生活していきたいです。三条でお世話になったことを感謝し、忘れてはいけないことだと心に刻みます。今までの経験・体験を活かし、自分たちには何ができるのかを考えていきたいと思ひます。

ありがとうございました。

阿部 正剛

今年の冬は、私のような車椅子使用者には寒かったが少雪で助かった。車椅子にとって雪は天敵で少しでも積もってしまうと自力での移動はほとんど不可能になってしまう。車に乗ってれば気にすることなく目的地までは行けるのだが車を降りてからが大変なのである。駐車場が消雪パイプでアスファルトが出るくらいしっかり除雪してくれれば問題ないのであるが、人の手やブルドーザー等で除雪している所ではどうしても雪が残ってしまっている。歩行者にはジャマにならない残雪でも、そこが凍結して凸凹になっていると滑って進めなくなってしまうのである。冬は外出できる場所が限られてくるので冬は一番嫌いな季節である。

一番有り難いのは、燕のイオンのような立体駐車場で雪や雨の苦勞なく買い物に行けるので便利だ。そこまでいなくても、消雪パイプでしっかり除雪してくれる駐車場は、不自由なく行けるのだが消雪パイプのないところも多い。コスト面を考慮すると仕方ないのだがもっと増えてくれると有り難い。

もうひとつ、買い物へ行って車から降りようとしているときや乗ろうとしているとき「お手伝いしましょうか」と声をかけてくれる優しい方も多い。勇気をだして声をかけてくださったことに誠に感謝しているのだが、ほとんどの場合「ありがとうございます、でも大丈夫です」と断ってしまう。せっかく声をかけてくださったのに申し訳ないのですが、他人から見ると大変そうに見えるが、車椅子降りし方や乗せ方は個々人のスタイルがあり、微妙な車椅子の位置や角度があってそれぞれ長年の経験で自分のやりやすい方法を生み出しているのです、それを言葉で説明するのは難しく大変で自分でやった方が早いので断ってしまう。しかし、雪道や段差で困っているときに声を掛けていただくとホントに有り難くて、お言葉に甘えてお手伝いをお願いすることも多いが、車の乗降時だけは申し訳ないと思いつつ「大丈夫です」と言ってしまう。

皆さんも障がい者やお年寄りが困っているようなので声を掛けたのに「大丈夫です」と断られた経験のある方も多いと思うが、その「大丈夫です」の心の裏では「私のような者に、あなたのような親切な方がわざわざ声を掛けていただいてありがとうございます。本当はお言葉に甘えてお願いしたいのですが、あなたのような素晴らしい方のお手を煩わしお時間を頂くのは心苦しい限りです。そのお気持ちどうぞ私より困っている方々のためにお使ください」と思っていますので、声を掛けて断られた経験のある方も、お気を悪くせずどんどん声を掛けてください。

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成26年4月2日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

あつと言う間に来月5月24日(土)第19回総会です。記念講演会の講師は、な、な、なんと燕三条エフエムの「さとちん」と「ひとちん」。女性会議始まって以来のダブルキャストです。どうぞご家族、ご友人みんな誘ってご参加ください~(^)/

次回の運営委員会は、会場が、田辺さん宅へ変更となります。

日時は、5月7日(水)9:30~です。どなたでもおいでください。

### 1. 総会について

毎年皆様から楽しみにして頂いている記念講演会の講師が、燕三条エフエムのさとちん様と高野一美様に決まりました！お二人の巧みな掛け合いで番組の裏話や地域におけるFM局としての役割等多彩なお話がお聴きできるのではと思います。

開催案内を4ページに載せました。公開講演会ですので、どうぞどなたでもご参加ください。

## 2.

### 燕三条エフエム放送(ラヂオは〜と 76.8MHz)ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週木曜日 11:30~12:00 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

4月のテーマ 「市島教授のコミュニケーション講座」

①言葉の役割 ②察しに期待はNG ③沈黙は金か ④出る杭になろう

メンバー：市島清貴（新潟経営大学経営情報学部教授）

安室久恵、米田美智子、西方久子、野崎ミチコ、田辺ともこ

今月各週のテーマは市島先生から提供いただきました。6ヶ月のブランクなど感じる間もなく、テーマを見るなり、わくわく感が込み上げ、メンバー同テンポよくおしゃべりを楽しみました。意見と人格は一致しない、自分の言葉で語れ、etc.・教授とのやりとりの中で改めてコミュニケーションについて真面目に考えたいと思いました。

どうぞお聴きください。(田辺)

## 3.

### 各種審議会等について

#### ◆平成 25 年度第 3 回三条市男女共同参画審議会の報告

西方久子

平成 26 年 3 月 18 日、第 3 回三条市男女共同参画審議会が三条市役所第二庁舎で開かれた。この日の議題は、①「25 年度男女共同参画推進プラン実施状況（1 月末現在）について②市民意識調査に係るアンケート項目について③その他「26 年度は男女共同参画に関する市民調査を実施し、27 年度からの 4 年間『三条市男女共同参画プラン』の見直しの年度である」と担当者から説明があった。

①の各事業における担当課評価では、各担当部署の男女共同参画の視点への理解不足と思われる施策や評価基準に疑問を感じるものもあり、審議委員の経験を重ねるほど、4 段階評価の難しさを感じた。

②市民意識調査については、内容や分析(今までとの比較など)についての意見・感想があった。

私が審議委員になった 6 年前は、先輩審議委員から男女共同参画を学び、理解した上で発言するようにと、お堅い会議(怖い)の心構えを教えられた。

しかし、委員 10 人中 6 人が新人で「男女共同参画とは何か？」から会議が始まり唖然！！審議会には珍しい交流を深める懇親会があり、毎回出席で楽しい 6 年間でした。

私が男女共同参画(平等)を推進しても、我が家は男女平等ではなく、虚しさばかり。しかし、この 2 年間の夫教育(主夫)の成果で家庭でも男女平等が確立！！審議委員になって一番嬉しいことです。(時々、夫の溜息が…)

#### ◆三条市介護保険運営協議会 地域包括支援センター運営部会報告

安室 久恵(以下 3 件)

3月14日(金)、第4回地域包括支援センター運営部会が市役所第二庁舎会議室で開かれた。主な議題は、平成25年度地域包括支援センターの実施状況、三条市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画 平成25年度実施状況、平成26年度地域包括支援センターの事業計画・収支予算(案)で、事務局、各地域包括支援センター担当者から説明があり、委員との質疑応答ののち内容について承認された。

また、次期計画のための「高齢者ニーズ調査」を実施したとの報告があった。

#### ◆三条市介護保険運営協議会 計画運営部会報告

3月17日(月)、第4回計画運営部会が市役所第二庁舎会議室で開かれた。議題は、三条市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画 平成25年度の実施状況(1月末)で、事務局から事業全体の報告があり、委員との質疑応答ののち承認された。

#### ◆三条市介護保険運営協議会報告

3月24日、第3回三条市介護保険運営協議会が市役所第二庁舎会議室で開かれた。議題は、三条市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画 平成25年度の達成状況(1月末)で、事務局から事業全体の報告があり、委員との質疑応答ののち承認された。また、介護保険制度の改正案について説明があった。

## 4.

### 新潟県女性財団より

新潟県女性財団では、内閣府の「男女共同参画週間」に合わせて6月に「<sup>ひと</sup>にいがた女と男フェスティバル2014」を6月23日～29日、新潟ユニゾンプラザで開催します。各種ワークショップと28日(土)午後は財団主催の講演会が、行われます。今から予定に入れて、一緒に行きましょう！

#### 第19回三条女性会議総会の開催について(ご案内)

春暖の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から当会運営に格別のご支援、ご協力をいただき深く感謝しております。

さて、下記のとおり総会を開催致します。何かとお忙しいことと存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い致します。

記

- 日 時 **5月24日(土)**  
午後5:00～6:00 総会 6:00～7:00 記念講演会 7:00～9:00 懇親会
- 会 場 まるい(三条市旭町1-5-16 TEL32-2208)
- 記念講演 講師 燕三条エフエム パーソナリティー さとちん様 高野一美様
- 会 費 4,000円(当日会場で申し受けます)
- 申込先 三条市田島2-12-12 野崎ミチコ 電話080-1042-9788  
又は、お近くの運営委員まで

※なお、出欠の有無を同封のハガキにより4月中にご投函くださると助かります。

編集後記：競って咲き誇る春の草木たちで我が家の庭が春爛漫です。雪の中から頭をもたげ今年もちゃんと蕾を膨らませてくれる生命力…雪国の女は強し!(イコールにはならないかな?) イエイエ、女性会議の皆さまは、夏に咲く~~編集発行の~~三条女性会議が、~~代表今野崎ミチコ~~隅から隅までお読みください。(原)

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>